

ボランティア活動『かぐ転防』運動の紹介

名城大学立川研究室では建築構造を学ぶ学生と卒業生を中心とした『家具転倒防止工事推進』隊、通称『かぐ転防』隊を発足し、平成 17 年より活動を続けて参りました。

一つの施工を 3～4 人程で行い、2、3 時間を要します。

尚、施工時に必要な金物代と交通費用、学生の食費等は実費精算でご負担戴きます。

～家具転倒防止活動の必要性～

阪神淡路大震災では、逝去された約 6500 名のうち 8 割を超える方達が圧死といわれています。重い家具の転倒防止工事が震災の時点で普及していたならば、逝去された方達の 10% 程度の、数千名の運命を変えられたかもしれません。さらには、何万人の方達の重軽傷レベルを 1～2 ランク減少させ得たとも考えられます。

名古屋市は 200 万人、愛知県では 500 万人の人口を有しております。近来、ニュージーランド、また日本でも、東北・関東地方で多大な被害をもたらした地震が発生いたしました。加えて東海・東南海地震の発生は必至と言われているこの状況下での家具転倒・ガラス飛散防止工事は必要不可欠であり、緊急性を要するものであると考えております。

【家具転倒防止工事以外で、当研究室が準備している内容について】

研究室では、個人、町内会、自治体あるいは地域消防団などからの依頼があれば、以下の『実習講習会』をご当地にて開催いたします。

「講習と実習」の内容は、

1. 電動ドリルを使用してコンクリートに穴を開け、ビス止めの実習、ガラスフィルムの貼り付け実習を行います。
2. 質疑応答

※ご連絡を戴ければ、東海 4 県どこでも実習講習会を無料で開催いたしますので、お気軽にご連絡ください。

【連絡先】 ～施工依頼、ご質問等受け付けております～

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1 丁目 501 番地

研究室直通：FAX と留守電機能付き：052-838-2370

名城大学建築学科直通 FAX：052-832-1179